

Morgan Stanley

For Immediate Release

モルガン・スタンレー、CEO の後継プランについて発表

ジェームス・ゴーマンが 2010 年に最高経営責任者(CEO)に就任

ジョン・マックは引き続き会長を務める

綿密な後継プロセスと社内の主たる実績をうけての発表

[ニューヨーク、2009 年 9 月 10 日] モルガン・スタンレー(NYSE: MS)の取締役会が本日、共同社長のジェームス・ゴーマンが 2010 年 1 月 1 日付けで同社の最高経営責任者(CEO)に就任し、ジョン J. マック会長兼 CEO は会長として留任すると発表した。ゴーマンは、2009 年末に同社の取締役会のメンバーとなる。同社はまた、ワリッド A. チャマー共同社長が本年末に Morgan Stanley International の会長に就任し、引き続きロンドンを拠点とすると発表した。

ジョン・マックは次のように述べている。「ジェームス・ゴーマンは、モルガン・スタンレーのリーダーとして極めて優れた人物です。彼はこれまでに、傑出したチームを作り出し、優秀な戦略を実践し、さらには当社に有益なビジネスをもたらした、という輝かしい実績を持っています。私がモルガン・スタンレーに戻って来て以来、後継者の指名は私にとって最優先課題でしたが、ジェームスは今後当社を率いる最も適した人物であると確信しています。彼は、当社のウェルス・マネジメント事業における営業収益を 3 年間という短期間で約 3 倍に飛躍させ、今後の成長と収益性の鍵を握る重要案件であるスミス・バーニーとの合併会社設立において、大きな役割を果たしました。また、彼は共同社長として、社内のみならず、金融業界において広く尊敬されており、当社の主要な機関投資家および法人顧客との関係構築に寄与してくれました。私は今後も、ジェームス、そして社員とともにモルガン・スタンレーを新たな成功へと導くために協力していただけることを楽しみにしています。モルガン・スタンレーの社員一人ひとりの尽力と貢献により、私たちは過去 4 年間に大きな成果を生み出しました。30 年以上もこのような素晴らしい会社で働いているということは、私にとって大変光栄です。」

マックは次のように続ける。「ワリッド・チャマーは、モルガン・スタンレーの様々な役職において多大な貢献をもたらし、彼が引き続き Morgan Stanley International の会長の立場で、経営陣の一角として重要な役割を担ってくれることをうれしく思います。過去 16 年間、彼は当社のグローバル資本市場ビジネスの基盤をつくり、成長させました。また、未曾有の混沌と変貌の時期においても、当社の一流の投資銀行基盤を再活性化させ、法人・機関投資家向け証券ビジネスを戦略的に牽引してきました。ワリッドは、この数年にニューヨークとロンドンを何度も行き来し、昨秋の金融危機において強力なリーダーシップを発揮したことにみられるように、モルガン・スタンレーの『one-Firm』の文化の象徴とも言える人物です。この後継プロセスを通じて、ワリッドは引き続き家族がいるロンドンを拠点とすることを望みました。Morgan Stanley International の会長としての職務により、ワリッドはその希望をかなえられるほか、彼の世界中の強力な顧客との関係を活かし、モルガン・スタンレーがさらに発展する為の助けとなってくれるでしょう。」

また、ゴーマンは次のように述べている。「モルガン・スタンレーは、非常に有能な人材が集まり、グローバルな事業基盤と卓越した顧客基盤の基となっている素晴らしい企業文化を有しています。ジョン・マックは、30年間にわたり同社がこれまで培ってきたものを守り、またさらに発展させてきました。それは昨秋の金融危機時において、まさに顕著でした。ジョンの強いリーダーシップにより、現在の変貌した市場環境において、我々はモルガン・スタンレーの卓越した法人・機関投資家向け証券業務を引き続き成長させる機会に恵まれています。このような素晴らしい組織と文化の一部であることは真に光栄です。顧客、社員ならびに株主のために当社の強力な経営基盤を活かし、ジョンやワリッドをはじめとする経営陣と世界の同僚とともに、これからも緊密に働けることを楽しみにしています。」

モルガン・スタンレーについて

モルガン・スタンレーは、投資銀行、証券、資産運用、ウェルス・マネジメント事業において多岐にわたるサービスを提供する世界有数の総合金融サービス企業である。世界 37 カ国にある 1,200 以上のオフィスを通じて、法人、政府、機関投資家、個人に質の高い金融商品およびサービスを提供している。モルガン・スタンレーに関する詳細: www.morganstanley.com

ジェームス P. ゴーマンについて

ジェームス P. ゴーマンは現在 51 歳。過去 2 年間、モルガン・スタンレーの共同社長として、同社のグローバル・ウェルス・マネジメント部門 (GWMG)、マーチャント・バンキング事業を含むモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント部門 (MSIM)、またオペレーションやテクノロジー関連業務などを統括している。モルガン・スタンレーには、2006 年 2 月に GWMG のプレジデント兼最高執行責任者 (Chief Operating Officer) として入社した。2007 年 10 月に最高財務責任者 (Chief Financial Officer) のコルム・ケレハーとともにストラテジー・プランニングの共同責任者に就任し、2007 年 11 月より同社の共同社長を務める。また、2009 年 1 月には、同年 6 月に設立された合併会社、モルガン・スタンレー・スミス・バーニー (MSSB) の会長にも指名された。

モルガン・スタンレーに入社する前は、メリルリンチにおいて要職を歴任した。2001 年から 2005 年までは、メリルリンチの米国、後にグローバルのプライベート・クライアント・ビジネスを指揮した。メリルリンチ以前はマッキンゼー・アンド・カンパニーで金融サービス担当のシニア・パートナーを務め、証券、銀行、アセット・マネジメント業界の顧客を担当した。それ以前はオーストラリアのメルボルンで弁護士をしていた。

同氏は MSCI Inc. の取締役会メンバーであり、リード・ディレクターを務めており、コロンビア・ビジネス・スクールとニューヨーク市のスペンス・スクールの理事でもある。また、以前は Visa USA の取締役会メンバーであり、ワシントン D.C. にある米証券業金融市場協会 (SIFMA) においては理事、ならびに 2006 年には SIFMA の理事会会長を務めた。

オーストラリア国籍。メルボルン大学で法学士号を取得し、コロンビア大学にて M.B.A. を取得した。

###